

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第14週 （4月4日～4月10日）

## ★お知らせ

### ○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関からの報告数は、第13週の20.33から第14週では10.79と減少しています。すべての地域で減少しましたが、高知県全域と安芸以外の保健所管内では引き続き注意報値を超えています。迅速検査ではインフルエンザA型7%、B型93%となっており、B型の報告が増加しています。

引き続き、手洗い、咳エチケットに心がけて下さい。普段から咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳やくしゃみが出る時はできるだけマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと等が大切です。十分な休養、バランスの良い食事をとり体力や抵抗力を高めましょう。

また、症状のある方は早めに医療機関を受診しましょう。

※厚生労働省インフルエンザ 総合対策（外部サイトへリンク）

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleza/index.html)

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第13週の5.33から第14週では5.33と横ばいですが、高知市、中央西、安芸で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ロタウイルスが19例報告され、また基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が13例報告されるなど、ロタウイルスの報告が多いです。

病原体検出情報では、Norovirus GII NT 2例、Sapovirus genogroup unknown 1例が検出されています。

ロタウイルス感染性胃腸炎は、主に0～2歳児を中心に好発し、毎年概ね2月から5月にかけて流行がみられます。主症状は発熱、嘔吐、白色の水様便を特徴とする下痢です。他のウイルス性胃腸炎と比べると重度の脱水症状を呈し、入院治療を必要とすることが多いです。

患者の便やおう吐物の処理をするときは、撒き散らさないよう十分注意をするとともに処理後は十分手洗いをしましょう。衣類が便や吐物で汚れたときは、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）でつけおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。ロタウイルスにはアルコールなどの消毒薬ではあまり効き目がありません。

予防方法は、任意による予防接種がありますので、かかりつけの医療機関にお尋ねください。

### ○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第13週の0.07から第14週では0.13と増加しています。高知県全域と須崎、中央東では注意報値を超えています。

病原体検出情報ではBordetella pertussis 3例が検出されています。

潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まりますが、次第に咳が著しくなり、顔を真っ赤にしてコンコンと激しく咳込み、最後にヒューッと音を立てて大きく息を吸う百日咳特有の咳が出始めます。乳児では重症になり、特に新生児がかかると無呼吸発作など重篤になることがあります。

予防にはワクチンが有効です。生後3ヶ月になったら、かかりつけ医に相談し、早めに接種を受けましょう。

日常の予防対策は、手洗い、うがい、咳エチケットを心がけましょう。

○ダニが媒介する感染症に気を付けて！

14週は、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の報告がありました。

野山に生息するマダニに刺されることで感染症（日本紅斑熱、SFTS等）を起こすことがあります。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。マダニは、春から秋にかけて活動が盛んで、また、多くの発生が見られることから、農作業やレジャーで、森林や草むら、藪などに入る場合には十分注意しましょう。

▲肌を出さないよう、長袖、長ズボン、長靴、帽子、手袋等を着用しましょう。

▲虫よけスプレーを活用しましょう。

▲地面や草むらに直接寝転んだり、腰を下ろしたりせず、敷物やイスを使いましょう。

▲帰宅後は、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認し、新しい服に着替えましょう。

▲野山や河川敷など野外から帰った犬や猫はダニが付着している可能性があるため、よく見てあげましょう。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

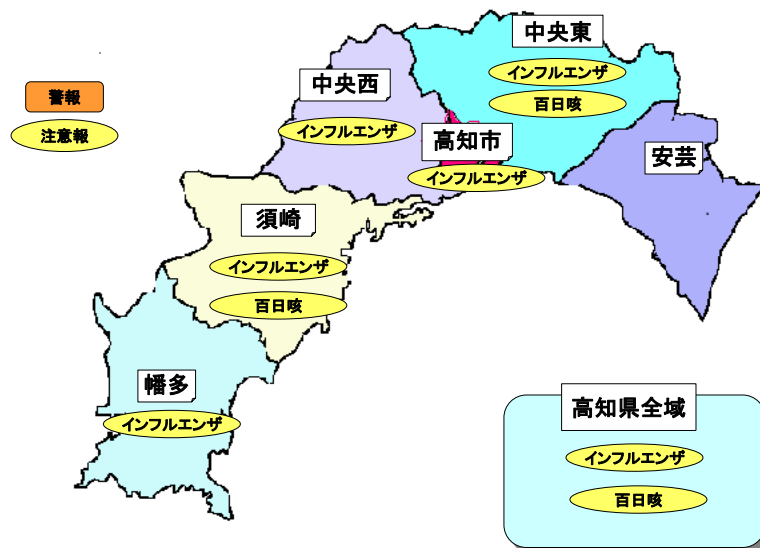
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減  
14週（4月4日～4月10日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	↘	10.79	すべての地域で減少しましたが、高知県全域と安芸以外で引き続き注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	5.33	高知市、中央西、安芸で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	1.30	中央西で増加しています。
RSウイルス感染症	↘	0.50	県下で横ばい又は、やや減少しています。
突発性発疹	↑	0.33	中央西、幡多、中央東、高知市で増加しています。
流行性耳下腺炎	↘	0.33	中央西、須崎、幡多で増加しています。

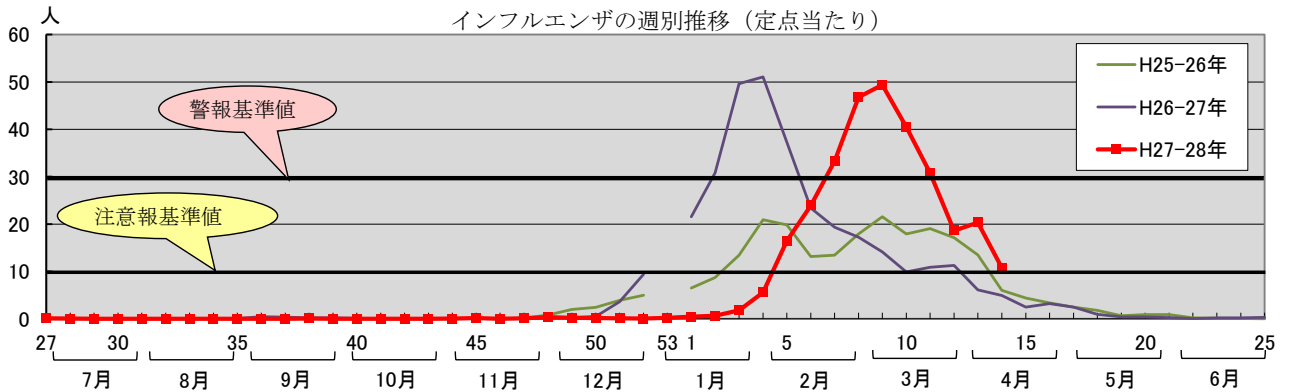
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

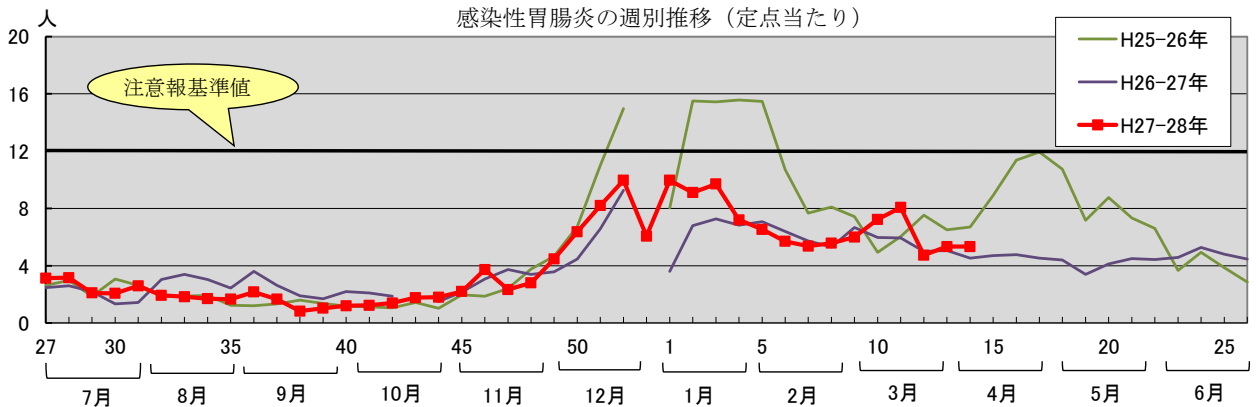
○インフルエンザ 第14週：10.79（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり10.79（前週：20.33）と減少しています。すべての地域で減少しましたが、高知県全域と安芸以外で引き続き注意報値を超えています。



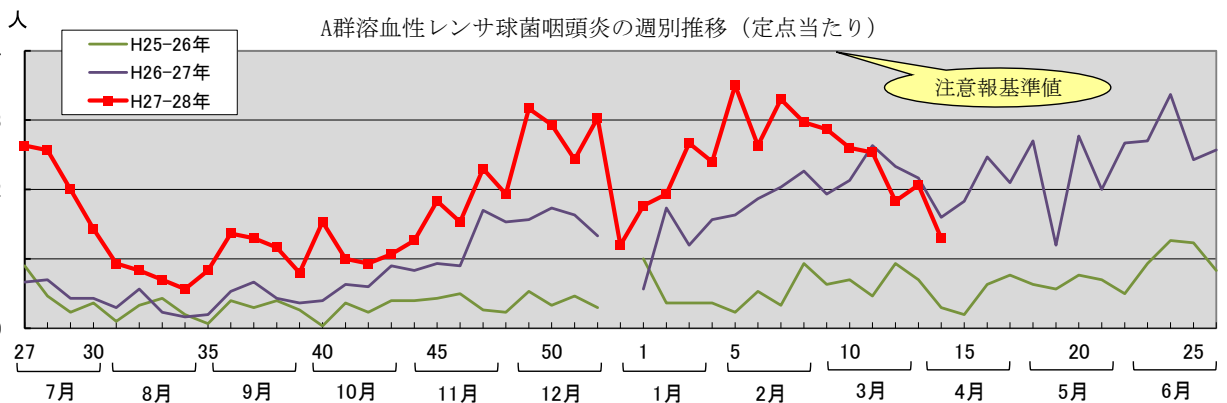
○感染性胃腸炎 第14週：5.33（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり5.33（前週：5.33）と横ばいです。地域別にみると、高知市6.64（前週：6.45）、中央西6.00（前週：2.67）、安芸5.50（前週：4.50）、で増加しています。



○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第14週：1.30（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.30（前週：2.07）と減少しています。地域別にみると、中央西2.00（前週：0.67）、で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
14	感染性胃腸炎	4	女	須崎	Norovirus GII NT
14	急性気管支炎	15	男	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
14	百日咳	2ヶ月	女	高知市	<i>Bordetella pertussis</i>
14	百日咳	2ヶ月	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
11	急性気管支炎、熱性けいれん、 中耳炎、突発性発疹症	1	男	幡多	Human herpes virus 6
11	インフルエンザ	1	男	幡多	Human herpes virus 6
12	不明発疹症	4	女	須崎	Human herpes virus 7
12	感染性胃腸炎	2	女	須崎	Sapovirus genogroup unknown
13	-	2	女	中央東	Cytomegalovirus
13	不明発疹症	10ヶ月	女	須崎	Cytomegalovirus
13	不明発疹症	11	男	須崎	Human herpes virus 7
13	感染性胃腸炎	4	男	須崎	Norovirus GII NT

★全数把握感染症

第14週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	30	80歳代男	高知市
		1	31	60歳代女	中央東
4類	重症熱性血小板減少症候群	1	4	60歳代女	幡多

## ★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報	
中央東	あけぼのクリニック	百日咳2例（9歳、11歳：PT-IgG>100）	
		ロタウイルス胃腸炎7例（0歳、1歳2人、3歳2人、5歳、11歳）	
		hMPV感染症2例（9ヶ月、3歳）	
中央東	野市中央病院小児科	インフルエンザ B型4例 ワクチン接種済み2例（7歳男、14歳女） ワクチン未接種2例（2歳男、3歳男）	
	早明浦病院小児科	ロタウイルス感染性胃腸炎1例（1歳） インフルエンザ B型4例（4歳2人、6歳、13歳）	
高知市	けら小児科・アレルギー科	ヒトメタニューモウイルス肺炎2例（0歳女、1歳男）	
		ロタウイルス胃腸炎3例（1歳女、3歳男、6歳女）	
		カンピロバクター腸炎2例（5歳男、12歳男）	
		百日咳1例（35歳：PT-IgG160EU/ml以上）	
		マイコプラズマ肺炎5例（6歳男、7歳女、8歳男2人、11歳男）	
	高知市	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザA型1例 B型17例 予防接種済み3例 溶連菌感染症6例 流行性耳下腺炎2例
		国立病院機構高知病院小児科	インフルエンザ・溶連菌感染症同時感染1例（3歳男） 感染性胃腸炎の1歳女児1名、3歳男児はロタウイルス罹患
		細木病院小児科	キャンピロ4例（2歳男、3歳女、5歳男、9歳男） ロタ5例（1歳男、2歳男2人、4歳女、6歳男）
	高知市	三愛病院小児科	アデノウイルス胃腸炎1例（1歳）
		高知医療センター小児科	RSウイルス感染症1例（4ヶ月女）
カンピロバクター2例（11歳男、13歳女）			
病原性大腸菌4例（0ヶ月男2人、0ヶ月女、2ヶ月男） ロタウイルス感染症1例（8ヶ月女）			
中央西	石黒小児科	顔面単純ヘルペス1例（30歳女） 伝染性単核症1例（14歳女）	
須 崎	もりはた小児科	ヘルペス性歯肉口内炎1例（9歳女）	
		水痘1例（3歳女：ワクチン2回スミ）	
		百日咳1例（2ヶ月男：県外LANP+）	
		百日咳1例（5歳男：PT-IgG160X）※13週検出 カンピロバクター腸炎2例（5歳、8歳）※13週検出	
幡 多	さたけ小児科	hMPV1例（0歳男） インフルエンザ31例 全てB型	
	幡多けんみん病院小児科	hMPV陽性2例（2歳男、3歳女）	

### ■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年4月5日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年4月8日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-%E3%82%B8%E3%82%AB%E7%86%B1/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）（ジカウイルス感染症に関するQ&A、流行地域など）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

## ★全国情報

### 第12週（3月21日～3月27日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核280例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症10例、腸チフス2例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎9例、ジカウイルス感染症2例、重症熱性血小板減少症候群1例、  
デング熱13例、マラリア3例、レジオネラ症7例

5類感染症：アメーバ赤痢18例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、  
急性脳炎5例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、  
後天性免疫不全症候群6例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症3例、  
侵襲性肺炎球菌感染症26例、水痘（入院例に限る）4例、梅毒50例、  
播種性クリプトコックス症1例、破傷風2例、風しん1例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎5例、デング熱3例、レジオネラ症5例、

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症6例、急性脳炎11例、クリプトスポリジウム症1例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、侵襲性髄膜炎菌感染症2例、水痘（入院例に限る）2例、  
梅毒34例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

## ★注目すべき感染症

### ◆梅毒 2015年第1～53週と2016年第12週までの疫学的特徴

2015年第1～53週まで（2014年12月29日～2016年1月3日）に診断され、感染症法に基づく医師の届出による梅毒として報告された症例数は2,698例（2016年3月30日時点、暫定値）であった。報告都道府県別では、東京都1,057例、大阪府324例、神奈川県165例、愛知県122例、埼玉県103例が多く報告された。性別は男性1,934例、女性764例であった。感染経路別では、男性は異性間性的接触が840例、同性間性的接触が585例の報告であった。また、女性の異性間性的接触は555例であった。病型は、感染早期の患者動向を反映し、最も感染力の高い早期顕症梅毒が、男性1,336例、女性422例であった。

5歳毎の年齢分布として、男性は20～54歳の各年齢群より報告されており（計1,640例：男性報告全体の85%）、最も割合の高い年齢群は40～44歳（313例：男性報告全体の16%）であった。女性は15～34歳の年齢群が女性報告全体に占める割合が7割（計538例）であり、20～24歳（240例：女性報告全体の31%）が最も割合の高い年齢群であった。先天梅毒は13例が報告された。

2016年第1～12週まで（2016年1月4日～3月27日）に診断され、梅毒として報告された症例数（2016年3月30日時点、暫定値）は796例で、昨年同時期（397例）の2.0倍であった。性別は男性563例、女性233例で、昨年同時期（男性289例、女性108例）のそれぞれ1.9倍、2.2倍であった。

報告都道府県別では、東京都350例（前年同時期147例、2.4倍）、大阪府100例（同43例、2.3倍）、神奈川県44例（同29例、1.5倍）、愛知県37例（同14例、2.6倍）、埼玉県29例（同13例、2.2倍）が多く報告された。

感染経路別では、男性は異性間性的接触が275例（昨年同時期105例、2.6倍）、同性間性的接触が158例（同104例、1.5倍）の報告であった。また、女性の異性間性的接触は177例（同73例、2.4倍）であった。

早期顕症梅毒が、男性で411例（同166例、2.5倍）、女性で131例（同55例、2.4倍）とそれぞれ増加した。

5歳毎の年齢分布として、男性は20～54歳の各年齢群より報告されており（計477例：男性報告全体の85%）、最も割合の高い年齢群は40～44歳（96例：男性報告全体の17%）であった。女性は15～34歳の年齢群が女性報告全体に占める割合が約7割（計166例）であり、20～24歳（75例：女性報告全体の32%）が最も割合の高い年齢群であった。先天梅毒は4例（昨年同時期3例）が報告された。

2010年以降梅毒の報告数は増加傾向に転じており、本年3月までの報告は、昨年と同様な傾向で増加が継続している。全国的に増加がみられており、東京都と大阪府、そしてその周辺の地域からの報告が特に多い。昨年に引き続き、男女の異性間性的接触による報告数増加の傾向が続いており、母子伝播による先天梅毒の増加も懸念される。また、同性間性的接触による報告数も増加している。

今後の梅毒の発生動向に引き続き注意しながら、特にリスクが高い集団に対する啓発活動が重要である。具体的には、不特定多数の人との性的接触はリスク因子であり、その際にコンドームを適切に使用しないことがリスクを高めること、オーラルセックスやアナルセックスでも感染すること、梅毒は終生免疫を得られず再感染することなどが啓発のポイントとして挙げられる。感染が疑われる症状がみられた場合には、早期に医師の診断・治療を受けることが重要である。梅毒と診断した場合には、感染症法に基づく届出を行う必要がある。また、梅毒に感染していたとわかった場合は、周囲で感染の可能性がある方（パートナー等）と一緒に検査を行い、必要に応じて、一緒に治療を行うことが重要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第14週 平成28年4月4日(月)～平成28年4月10日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第14週					計	前週	全国(13週)	高知県(14週末累計) H28/1/4～H28/4/10	全国(13週末累計) H28/1/4～H28/4/3	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎						幡多
インフルエンザ	インフルエンザ		13	112	172	52	48	121	518 ( 10.79)	976 ( 20.33)	55,341 ( 11.20)	14,367 ( 299.31)	1,466,110 ( 296.96)
小児科	咽頭結核熱		1						1 ( 0.03)	2 ( 0.07)	707 ( 0.22)	32 ( 1.07)	14,002 ( 4.45)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			8	18	6	1	6	39 ( 1.30)	62 ( 2.07)	6,214 ( 1.97)	1,031 ( 34.37)	116,032 ( 36.85)
	感染性胃腸炎		11	33	73	18	9	16	160 ( 5.33)	160 ( 5.33)	17,386 ( 5.51)	2,875 ( 95.83)	276,590 ( 87.83)
	水痘				2			3	8 ( 0.27)	4 ( 0.13)	1,163 ( 0.37)	106 ( 3.53)	17,007 ( 5.40)
	手足口病			1	2				3 ( 0.10)	( )	61 ( 0.02)	10 ( 0.33)	1,287 ( 0.41)
	伝染性紅斑			2	1	1			4 ( 0.13)	6 ( 0.20)	1,041 ( 0.33)	83 ( 2.77)	22,504 ( 7.15)
	突発性発疹			3	2	2		3	10 ( 0.33)	4 ( 0.13)	1,256 ( 0.40)	111 ( 3.70)	15,439 ( 4.90)
	百日咳			2	1			1	4 ( 0.13)	2 ( 0.07)	44 ( 0.01)	25 ( 0.83)	499 ( 0.16)
	ヘルパンギーナ								( )	( )	36 ( 0.01)	3 ( 0.10)	582 ( 0.18)
	流行性耳下腺炎				2	4	2	2	10 ( 0.33)	12 ( 0.40)	2,827 ( 0.90)	220 ( 7.33)	34,211 ( 10.86)
RSウイルス感染症		1	4	5				5	15 ( 0.50)	20 ( 0.67)	573 ( 0.18)	501 ( 16.70)	19,119 ( 6.07)
眼科	急性出血性結膜炎								( )	( )	9 ( 0.01)	( )	101 ( 0.15)
	流行性角結膜炎				2				2 ( 0.67)	( )	352 ( 0.51)	5 ( 1.67)	5,599 ( 8.17)
基幹	細菌性髄膜炎								( )	( )	7 ( 0.01)	( )	96 ( 0.20)
	無菌性髄膜炎								( )	( )	14 ( 0.03)	2 ( 0.25)	216 ( 0.46)
	マイコプラズマ肺炎				4				4 ( 0.50)	5 ( 0.63)	190 ( 0.40)	61 ( 7.63)	3,350 ( 7.08)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				1				1 ( 0.13)	2 ( 0.25)	6 ( 0.01)	22 ( 2.75)	122 ( 0.26)
	感染性胃腸炎				8			5	13 ( 1.63)	9 ( 1.13)	321 ( 0.68)	193 ( 24.13)	2,594 ( 5.48)
計 (小児科定点当たり人数)		26 ( 9.75)	165 ( 17.75)	293 ( 20.38)	83 ( 20.73)	64 ( 20.00)	161 ( 22.13)	792 ( 19.24)			87,548	19,647 ( 465.87)	1,995,460
前週 (小児科定点当たり人数)		51 ( 15.50)	315 ( 31.72)	448 ( 30.69)	95 ( 20.74)	104 ( 29.25)	251 ( 34.98)		1,255 ( 29.40)				

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第14週					計	前週	全国(13週)	高知県(14週末累計) H28/1/4～H28/4/10	全国(13週末累計) H28/1/4～H28/4/3	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎						幡多
インフルエンザ	インフルエンザ		3.25	10.18	10.75	10.40	12.00	15.13	10.79	20.33	11.20	299.31	296.96
小児科	咽頭結核熱		0.50						0.03	0.07	0.22	1.07	4.45
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1.14	1.64	2.00	0.50	1.20	1.30	2.07	1.97	34.37	36.85
	感染性胃腸炎		5.50	4.71	6.64	6.00	4.50	3.20	5.33	5.33	5.51	95.83	87.83
	水痘				0.18			0.60	0.27	0.13	0.37	3.53	5.40
	手足口病			0.14	0.18				0.10		0.02	0.33	0.41
	伝染性紅斑			0.29	0.09	0.33			0.13	0.20	0.33	2.77	7.15
	突発性発疹			0.43	0.18	0.67		0.60	0.33	0.13	0.40	3.70	4.90
	百日咳			0.29	0.09			0.50	0.13	0.07	0.01	0.83	0.16
	ヘルパンギーナ										0.01	0.10	0.18
	流行性耳下腺炎				0.18	1.33	1.00	0.40	0.33	0.40	0.90	7.33	10.86
RSウイルス感染症		0.50	0.57	0.45			1.00	0.50	0.67	0.18	16.70	6.07	
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.15
	流行性角結膜炎				2.00				0.67		0.51	1.67	8.17
基幹	細菌性髄膜炎										0.01		0.20
	無菌性髄膜炎										0.03	0.25	0.46
	マイコプラズマ肺炎				0.80				0.50	0.63	0.40	7.63	7.08
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20				0.13	0.25	0.01	2.75	0.26
	感染性胃腸炎				1.60			5.00	1.63	1.13	0.68	24.13	5.48
計 (小児科定点当たり人数)		9.75	17.75	20.38	20.73	20.00	22.13	19.24			465.87		
前週 (小児科定点当たり人数)		15.50	31.72	30.69	20.74	29.25	34.98		29.40				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869